

令和 2 年度 事業計画書

(令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで)

一般社団法人 舞鶴市水産協会

令和2年度 事業計画書

(1) 基本方針

舞鶴市においては、平成31年4月から第7次総合計画がスタートしており、市民と行政が共に、未来に向けた「ひとづくり」「まちづくり」に取り組み、「ひと・まちが輝く、未来創造・港湾都市 MAIZURU」を都市像に掲げられ、その重点事項の一つとして、「海・港」を最大限に活かした取り組みが押し進められています。

また、(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)は、地元食材を活かした「食」によるブランド戦略を展開することにより、増加が見込まれるインバウンドを含む観光客を「海の京都」へ呼び込む情報発信を強化し、その結果、観光消費額の増加を図る観光地域づくりの総合プロデューサーとして役割を果たしています。

このような状況の中で、本協会は、当協会の会員や京都府、舞鶴市、海の京都DMOなど関係団体と連携・協力し、本市に京都府産水産物の約8割が集荷される舞鶴地方卸売市場が立地しているという強みを活かし、「とれる!買える!食べられる!魚の街まいづる」の情報を市内外に強力に発信し、「舞鶴かに」「丹後とり貝」「京鱈」等の「舞鶴のさかな」のブランド化と四季折々の「舞鶴の旬の特鮮さかな」を「舞鶴のさかな提供店」で食べていただける取り組みを進めていきます。

なお、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大が終息するタイミングで、国による様々な地域活性化施策が予定されていますが、本協会も、それに呼応して、効果的な事業を進めてまいります。

(2) 主な事業計画

1. 公益事業(実施事業会計)

①水産物の消費拡大と食育の推進

ア 魚の街まいづるPR事業

「舞鶴のさかな」のブランド力の向上と消費者に購入してもらう動機づけを行い、「魚の街まいづる」のイメージアップを図る。

- ・「舞鶴のさかな提供店」制度をさらに展開し、提供店の料理等「食」の魅力を観光協会との連携によりPRし、新たな誘客と地域消費の拡大を図る。
- ・「舞鶴のさかな提供店」及び府漁協と連携し、「丹後とり貝」「岩がき」「舞鶴かに」「京鱈」の販売促進を推進する
- ・「シェフマッチング」のフォローを行い、首都圏において「舞鶴のさかな」のブランディングを実施する。
- ・「まいづる京鱈まつり」を実施する。
- ・舞鶴のさかなロゴマーク「うおづるくん」、舞鶴かにPRキャラクター「チョコまる」を活用した「舞鶴の旬の特産さかな」のPRを継続して実施する。
- ・「まいづる魚まつり」の後援を行う。

イ 地産地消の推進に係る事業

- ・市内外の保育園児、小学生、保護者などに対して、「舞鶴のさかな」の消費拡大や魚食普及を目的として「出前講座」等の取り組みを行う。

ウ 情報発信事業

「舞鶴のさかな」や「舞鶴のさかな提供店」など「魚の街まいづる」の情報を発信する手段として、ホームページを充実させるとともに、閲覧数が多いスマートフォン対応に改編する。

②水産流通加工業等の振興に関する調査研究

- ・「舞鶴のさかな」「魚の街まいづる」に係るブランド戦略に係る調査研究として、「お客様アンケート調査」を実施する。
- ・漁村・漁港・海岸の環境を保全するため、清掃活動を支援する。

2. 収益事業(収益事業会計)

・舞鶴水産会館の賃貸業

舞鶴漁港における水産関係者の福利厚生施設として、舞鶴水産会館の管理運営を行う。